






























入院診療計画書

患者氏名: 様 登録番号() 治療法:カテーテル・アブレーション(肺静脈隔離術) 主治医: 印

	入院	検査前日	検査当日 (検査前)	(検査後)	検査翌日	退院前日まで	退院
日付	/ ()	/ ()	/ ()	()	/ ()	/ ()	/ ()
食事	 治療食です。	 治療食です。	 ※午前中の治療 朝食・昼食はなしです。 ※午後の治療 朝食はいつもの半分の量で 出てきます。 昼食はなしです。	 麻酔がさめた後は、水分は 自由に摂ることができます。 食事は3時間後から可です。	 治療食です。	 治療食です。	 治療食です。
安静度	 院内を自由に歩行できます。	 院内を自由に歩行できます。	 院内を自由に歩行できます。	 術後1時間は 集中治療室で経過を観察します。 1時間後に砂嚢を除去します。 ()時:看護師が支え体を動かさせます。 ()時:ベッドアップ30度可です。 ()時:自分で体向可です。 ()時:ヘッドアップ60度可です。	 傷口の消毒後は、院内を 自由に歩行できます。	 院内を自由に歩行できます。	 院内を自由に歩行できます。
トイレ	 トイレ可	 トイレ可	 お小水の管を入れます。	 歩行可となるまで排泄はベッド上です	 傷口の消毒後、尿管を抜きます。 その後はトイレまで歩けます。	 トイレ可	 トイレ可
清潔	 入浴又はシャワー可	 入浴又はシャワー可	 検査着に着替え、T字帯を付けます。 弾性ストッキングを履きます。		 体を拭きます。 弾性ストッキングを脱ぎます。	 治療の翌々日(2日後)からシャワー 可、3日後から入浴可です。	 入浴又はシャワー可
内服・点滴	 内服薬を確認し、今までの薬 を一時止める事があります。	 通常前日から点滴を 始めます(左手)。	 術後、点滴を続けます。	 午前中で点滴は終了です。 (数日間継続する場合も あります)			
検査・処置	 心電図モニターを装着します。	 心電図モニターを継続します。 両鼠径部周囲の剃毛をします。 脈の状態をみる為に両足の甲に×印 を付けます。	 検査前、入れ歯・時計・指輪 などを外し、マニキュアはとって下さい。	 治療終了後、足の付け根に 砂嚢を1時間乗せます。 治療後は出血ないように 右膝を立てないように して頂きます。	 朝、医師が傷口を消毒します。 日中、血液検査、心電図、 胸部レントゲン検査が あります。	 不整脈や胸部・腹部違和感の 有無を観察します。	 心電図モニターを 終了します。
説明・指導	 看護師より治療の流れに ついての説明があります。		 検査室で鼻孔から細い管 (食道温度計)を入れます。 麻酔薬開始後は、安静を保つため 通常四肢を抑制します。 術後、約1時間は麻酔が残って いますが、次第にはっきりしてきます。	 ご家族の方は治療終了時に、医師から 結果について説明があります。	 (本人に)治療結果の説明が あります。	 退院後に必要な内服薬を 確認します。 抗凝固薬の内服は退院後、 通常数ヶ月間継続します。	
備考	 同意書を提出してください。	 T字帯を準備して下さい。 弾性ストッキングは病棟でサイズを 測定し準備します。	 ご家族の方は治療前に病棟に お越し下さい。				

* 状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら医師・看護師にお尋ねください。